



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社

コード番号 8032 URL <http://www.kamipa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野口 憲三

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部主計部部長

(氏名) 森 知生

TEL 03(3534)8522

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	259,385	4.8	3,829	25.2	3,959	32.2	1,460	—
25年3月期第2四半期	247,400	△5.5	3,059	△5.4	2,995	△5.6	△3,867	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 5,907百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,369百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.16	10.12
25年3月期第2四半期	△26.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第2四半期	284,485		75,005		25.2
25年3月期	276,891		69,011		23.9

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 71,808百万円 25年3月期 66,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	2.9	7,200	7.2	7,000	2.1	3,000	—	20.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	150,215,512 株	25年3月期	150,215,512 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,490,125 株	25年3月期	6,655,308 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	143,662,910 株	25年3月期2Q	146,276,034 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府・日銀の金融政策による円高の是正、長期にわたったデフレ傾向からの脱却、株高傾向と景気回復の明るい兆しが見えてまいりました。しかし、海外においては欧州の財政問題長期化やアジアをはじめ新興国の成長鈍化等の傾向が継続しております。

紙パルプ業界におきましては、洋紙・板紙ともに内需が前年並みで推移したことや円安による輸入紙の影響が減少したことにより、国内出荷は回復傾向で推移しました。

当社グループは、J Pグループ中期経営計画2013の最終年度として、グループ経営を推進し、経営資源の選択と集中・強化により収益基盤の一層の強化、人材力の強化及びグループ価値の最大化に戦略的に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間においては、当社グループの中で特に注力している海外事業が、欧米・中国を中心に順調に推移しております。製紙及び加工等事業につきましても家庭紙事業を中心に堅調に推移しており、次期中期経営計画においてもさらに生産性・収益性を高めるべく、設備新設・更新等を検討しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期連結累計期間比4.8%増の2,593億8千5百万円となりました。利益面では、営業利益は25.2%増の38億2千9百万円、経常利益は32.2%増の39億5千9百万円、四半期純利益は14億6千万円（前年同四半期連結累計期間は38億6千7百万円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

「国内卸売事業」

売上高は、前年同四半期累計期間比1.0%減の1,766億6千6百万円となりました。経常利益は、販売費及び一般管理費の減少により17.4%増の32億4千5百万円となりました。

「在外卸売事業」

米国及び中国等の販売が順調であったことに加え、円安による外貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期連結累計期間比24.5%増の686億8千万円となり、経常利益は114.1%増の4億3千4百万円となりました。

「製紙及び加工等事業」

売上高は前年同四半期連結累計期間比2.6%増の115億8千3百万円となりました。経常利益は、前連結会計年度に子会社化した大豊製紙(株)等の業績が期首から反映したこと等により、44.7%増の13億1千万円となりました。

「不動産賃貸事業」

前期のテナント退去の影響により、売上高は前年同四半期連結累計期間比12.3%減の14億3千万円となり、経常利益は37.8%減の2億4千4百万円となりました。

「その他の事業」

売上高は前年同四半期連結累計期間比16.0%増の10億2千6百万円となり、経常利益は130.8%増の1億7千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、太陽光発電事業等の設備投資による有形固定資産の増加及び投資有価証券の時価の上昇等により、前連結会計年度に比べて75億9千5百万円増加し、2,844億8千5百万円となりました。

総負債は、有利子負債の増加等により、前連結会計年度に比べて16億1百万円増加し、2,094億8千1百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度に比べて59億9千3百万円増加し、750億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下半期の我が国経済は、消費税率引上げ決定に伴う追加経済対策もあり、景気の回復傾向の持続が期待されますが、海外情勢は依然不透明な状況が継続しております。

紙パルプ業界におきましては、原材料のコストアップを背景とした印刷用紙等の価格修正に取り組んでおります。

当社グループについては、国内卸売事業では、価格修正の影響はあるものの、通期の連結業績への影響は軽微と見込んでおります。また、製紙及び加工等事業で原材料の調達価格が上昇しており、不動産賃貸事業も空室の影響が当面続くなど、業績の下押し要因が生じております。

このため、第2四半期連結累計期間は営業利益及び経常利益が当初予想を上回りましたが、通期の売上高、営業利益及び経常利益について当初予想を修正しておりません。また、当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間に計上した特別損失を反映し、当初予想の35億円を30億円に修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当社及び一部の国内連結子会社が加入している総合設立型厚生年金基金で解散方針等が決議されたため、基金解散に伴う損失の負担見込額を合理的に算定できる場合に、その損失の発生に備えて引当金を計上することといたしました。

これにより、当第2四半期連結累計期間において、厚生年金基金解散損失引当金繰入額820百万円を特別損失に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,769	5,011
受取手形及び売掛金	142,091	137,836
たな卸資産	22,339	25,190
その他	5,160	6,274
貸倒引当金	△1,253	△1,018
流動資産合計	173,106	173,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,344	28,924
土地	26,865	26,780
その他(純額)	12,103	15,547
有形固定資産合計	68,311	71,251
無形固定資産		
のれん	1,483	1,447
その他	1,233	1,210
無形固定資産合計	2,716	2,657
投資その他の資産		
投資有価証券	28,121	32,746
その他	5,927	5,809
貸倒引当金	△1,326	△1,297
投資その他の資産合計	32,723	37,257
固定資産合計	103,750	111,165
繰延資産	35	27
資産合計	276,891	284,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,760	100,916
短期借入金	39,180	46,527
1年内返済予定の長期借入金	9,702	10,129
コマーシャル・ペーパー	13,000	8,500
1年内償還予定の社債	180	120
未払法人税等	831	1,271
引当金	1,589	2,599
その他	6,570	7,091
流動負債合計	174,813	177,154
固定負債		
社債	15,155	15,100
長期借入金	7,560	7,147
退職給付引当金	2,333	2,511
その他の引当金	99	94
その他	7,919	7,475
固定負債合計	33,067	32,327
負債合計	207,879	209,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	15,247	15,247
利益剰余金	35,677	37,205
自己株式	△2,198	△2,143
株主資本合計	65,375	66,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,536	4,818
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	△818	33
その他の包括利益累計額合計	713	4,849
新株予約権	140	135
少数株主持分	2,783	3,062
純資産合計	69,011	75,005
負債純資産合計	276,891	284,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	247,400	259,385
売上原価	225,001	234,956
売上総利益	22,399	24,429
販売費及び一般管理費	19,340	20,600
営業利益	3,059	3,829
営業外収益		
受取利息	37	24
受取配当金	358	331
持分法による投資利益	156	59
為替差益	—	192
その他	259	241
営業外収益合計	810	848
営業外費用		
支払利息	696	647
その他	178	71
営業外費用合計	874	718
経常利益	2,995	3,959
特別利益		
負ののれん発生益	187	14
投資有価証券売却益	37	14
固定資産売却益	206	2
受取遅延損害金	127	—
その他	1	—
特別利益合計	558	30
特別損失		
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	820
固定資産処分損	8	367
関係会社整理損	73	4
投資有価証券評価損	9,171	—
段階取得に係る差損	229	—
投資有価証券売却損	5	—
その他	10	0
特別損失合計	9,496	1,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,943	2,798
法人税、住民税及び事業税	390	1,354
法人税等調整額	△2,685	△267
法人税等合計	△2,295	1,087
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,648	1,711
少数株主利益	219	251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,867	1,460

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,648	1,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,112	3,140
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	307	889
持分法適用会社に対する持分相当額	△149	165
その他の包括利益合計	2,279	4,197
四半期包括利益	△1,369	5,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,580	5,596
少数株主に係る四半期包括利益	210	311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	在外卸売 (百万円)	製紙及び 加工等 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)				
売上高								
外部顧客への売上高	178,424	55,175	11,285	1,632	885	247,400	—	247,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,172	382	7,247	14	342	15,157	△15,157	—
計	185,595	55,557	18,532	1,645	1,227	262,557	△15,157	247,400
セグメント利益 又は損失 (△)	2,765	203	905	392	75	4,341	△1,346	2,995

(注) 1 その他には、資源・環境事業及び情報システム販売等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△1,263百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額(連結上消去した受取配当金等を除く)であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	在外卸売 (百万円)	製紙及び 加工等 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)				
売上高								
外部顧客への売上高	176,666	68,680	11,583	1,430	1,026	259,385	—	259,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,261	402	9,998	19	376	20,056	△20,056	—
計	185,927	69,082	21,581	1,449	1,403	279,441	△20,056	259,385
セグメント利益 又は損失(△)	3,245	434	1,310	244	174	5,407	△1,448	3,959

(注) 1 その他には、資源・環境事業及び情報システム販売等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△1,270百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額(連結上消去した受取配当金等を除く)であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間に、倉庫・運送事業を営むJ P ロジネット(株)に、国内卸売事業に含めていた当社の物流本部の業務を移管しました。これに伴い、前連結会計年度において「その他」の事業としていた倉庫・運送事業は、第1四半期連結会計期間より「国内卸売」事業に区分することとしました。

なお、変更後の方法により作成した前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)」に記載しております。